

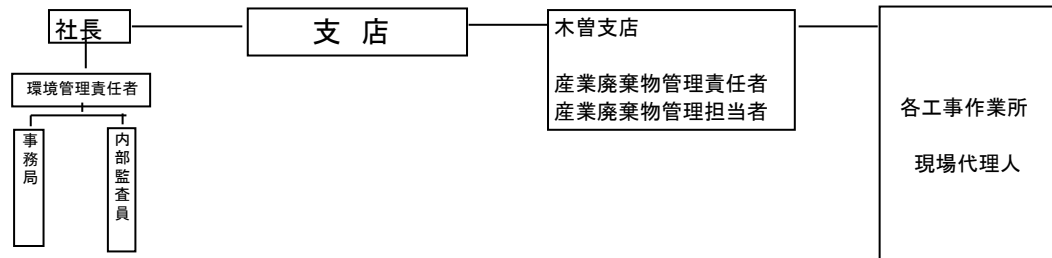
様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 6 月 20 日	
長野県知事	様
提出者	
住 所	長野県木曽郡木曽町福島5398番地14
氏 名	神稲建設株式会社木曽支店 支店長 柿本忍
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0264-21-3023	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	神稲建設株式会社 木曽支店
事業場の所在地	長野県木曽郡木曽町福島5398番地14
計画期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業(総合工事業)
②事業の規模	1,168,377,800円 (令和5年度 元請完成工事高)
③従業員数	15人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	各工事業所 産業廃棄物の発生、可能な限りの分別委託契約の締結 ↓ 産業廃棄物の委託 収集運搬 マニフェストの作成 再生利用業者及び最終処分業者への委託 ↓ 再生利用業者、最終処分業者による処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	排出量	2085.9014 t	t
	（これまでに実施した取組） ・環境マネジメントシステムの認証維持 環境方針へ地球資源が有限であることを明記し、環境負荷の低減と汚染の予防、環境保全、環境保護に努めている。 ・長野県産業廃棄物3R実践協定を締結しその計画と実績を公表、公約することで減量化、抑制にとりくんでいる。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	排出量	2065.0000 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・設計、計画段階における環境配慮（二次製品、環境配慮型製品等の利用、ライフサイクルの視点）の提案を採用・不採用に関わらず全件行う。 ・廃棄物の分別の徹底を行い、優良産廃処理業者に委託するよう努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・分別品目（金属くず、木くず、紙くず、廃プラ、石膏ボード、ダンボール、缶類）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・発火、爆発等の恐れのあるものについては、取扱いに注意し分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 無し		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 無し		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 無し		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	全処理委託量	2085.9014 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	115.4740 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・電子マニフェスト（電子委託契約含む）を推進している。 ・業者選定にあたっては、許可確認等含めて確認を行い総合的に判断して決定している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1の通り	
	全処理委託量	2065. 0000 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	120. 0000 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	10. 0000 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・「長野県産業廃棄物3R実践計画書」に基づき資源循環に努める。 ・優良認定処理業者に優先して委託する。 ・電子マニフェストの普及を推進する		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の種類		総排出量		自ら再生利用を行った（行う）量		自ら行う中間処理				自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量		処理の委託									
						自ら熱回収を行った（行う）量		自ら中間処理により減量した（する）量				全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		自ら直接再生利用した量等を含めた事業場における産業廃棄物の合計量		自ら直接再生利用する量と自ら中間処理を行った後に再生利用する量				中間処理前の量から中間処理後の量を引いた量		自ら直接埋立・海洋投入処分する量と自ら中間処理した後に自ら埋立・海洋投入処分する量		自社内で処理を行わず直接委託した量と自ら中間処理した残さ量のうち処理業者に委託して処理する量		優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）		中間処理後、有効利用されている場合の委託量（委託先から別の業者に売却等される場合を含む。）		認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）		認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	
①		②＋⑧		⑤		⑦		③＋⑨		⑩		⑪		⑫		⑬		⑭			
実績 計画		実績 計画		実績 計画		実績 計画		実績 計画		実績 計画		実績 計画		実績 計画		実績 計画		実績 計画			
法	1 燃え殻	0.0000	0.0000									0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000				
	2 汚泥	4.2900	4.0000									4.2900	4.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000				
	3 廃油	0.0000	0.0000									0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000				
	4 廃酸	0.0000	0.0000									0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000				
	5 廃アルカリ	0.0000	0.0000									0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000				
	6 廃プラスチック類	21.3550	20.0000									21.3550	20.0000	6.1950	7.0000	0.0000	0.0000				
政令	1 紙くず	5.6700	5.0000									5.6700	5.0000	3.0600	4.0000	0.0000	0.0000				
	2 木くず	189.8150	185.0000									189.8150	185.0000	7.9200	10.0000	0.0000	0.0000				
	3 繊維くず	1.3800	1.0000									1.3800	1.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000				
	4 動植物性残さ	0.0000	0.0000									0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000				
	5 ゴムくず	0.0000	0.0000									0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000				
	6 金属くず	58.4210	55.0000									58.4210	55.0000	21.5830	22.0000	0.0000	10.0000				
	7 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	44.5000	40.0000									44.5000	40.0000	29.8000	30.0000	0.0000	0.0000				
	8 鋳さい	0.0000	0.0000									0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000				
	9 がれき類	1741.9084	1737.0000									1741.9084	1737.0000	46.9160	47.0000	0.0000	0.0000				
	10 家畜ふん尿	0.0000	0.0000									0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000				
	11 家畜の死体	0.0000	0.0000									0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000				
	12 動物系固形不燃物	0.0000	0.0000									0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000				
	13 ばいじん	0.0000	0.0000									0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000				
	14 処分するために処理したもの	0.0000	0.0000									0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000				
建設混合廃棄物		18.5620	18.0000									18.5620	18.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000				
水銀使用製品産業廃棄物		0.0000	0.0000									0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000				
合 計		2085.9014	2065.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	2085.9014	2065.0000	115.4740	120.0000	0.0000	10.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000

※ 総排出量＝自ら再生利用を行った（行う）量＋自ら中間処理により減量した（する）量＋自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量＋全処理委託量

【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の左に前年度の実績（現状）を右に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入し、右欄にそれぞれの内訳を記載してください。
- 「自ら再生利用を行った（行う）量」の欄は、自ら直接再生利用した量と自ら中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った（行う）量」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分をした量を記載してください。